

住民と行政が連携して、「子供達が安心して遊べる吸川」をつくる目的で設立しました。

南小学校4学年児童の、総合学習「浄水場・吸川放水路見学」支援の報告。

毎年恒例になった放水路見学支援を6月5日行いました！
支援のメインは地味な長靴運搬。

児童は、放水路が自分達の学区である宮沢まで続いていることに驚いていました。



吸川ホタル探検会

今年は6月26日と7月3日の2回行いました。1回目はこれまでにないホタルの乱舞に感激！ 2回目は、ち～ら ほ～らで残念でした。
『七夕も近くなって、ホタルさんは甘い水を求めて天の川へ飛んでいったからかな？』(参加児の感想)

【団長】佐藤忠士副会長



6月26日 (参加25名)

7月3日 (参加29名)



7月5日 午前9～12時 沢川清掃 (総延長2k400m) 参加人員43名
【団長】小岩保雄常任幹事【撮影】菅原寿幹事



沢川上流 大船渡線 2k200m 付近



一関経理学校側面付近



国土交通省では、河川愛護の意識が広く国民の間で醸成されることを目的に、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、本年度も、「川が好き 川にうつつた 空も好き」を推進標語として、河川愛護運動を全国で展開しました。吸川をきれいにする会でも各地区に分かれて清掃活動を行ないましたが、今回は一関20区の方々が行った沢川清掃を紹介します。
J R 機関区裏付近

第10回北上川河口域ごみ清掃活動「海岸清援隊」に参加しました！

7月11日、共有資源である“北上川”について、河口地域に流されてきたゴミの実態に触れることにより、自然環境の保全と緑の環境づくりへの意識醸成及び地域での環境活動の広まりを図るとともに、川の上・下流交流による地域づくりを目的として、北上川流域市町村連携協議会が主催する海岸清援活動に参加してきました。
【団長】佐藤幸夫常任幹事

清掃活動の行われた立神海岸にて、一関からの参加者全員の記念撮影



7月31日 河川環境保全に貢献している北上製紙へ
県南広域振興局が感謝状を贈呈

北上製紙が平成16年以来継続している清掃活動【写真は4月24日の清掃】



一関地区合同庁舎で行われた伝達式で青木一関総合支局長が「河川環境に尽力いただき、感謝したい。吸川では最近虫が出るようになったと聞いており、環境面などで今後も大きな効果が期待されている」と感謝状を贈呈。北上製紙の阿部総務部長は「今後も社を挙げて継続していきたい」と、決意を語った。
【岩手日日記事から抜粋】